

平成27年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立高田小学校

教育目標(めざす児童生徒像)

「人間性豊かで実践力のある児童の育成」

めざす児童像 　　ただしく(素直で誠実な子)
 　　　　　　　　かしこく(自ら考え行動する子)
 　　　　　　　　たくましく(心と体を鍛える子)

今年度の指導の重点

人間力あふれる児童を育成する。
 自ら学びに向かう子
 気持ちのよいあいさつをする子
 最後までやり抜く子
 "自然と伝承文化の豊かなふるさと高田"に根ざした教育を展開する。

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】

全国

国語A算数A算数B理科については、全国平均より正答率は高い。
 国語Bは、正答率が全国平均より低く、県平均より高い。
 算数Bでは、2組の道のりが等しい1訳を記述する問題の正答率が県平均より高い。(本校42.1%、岡山県28.8%)
 目的や意図に応じた聞き方、まとめ方に課題がある。
 ・国語Aでは、聞き方の説明として正しいものを選択することに課題。(本校42.1%、全国53.0%)
 ・国語Bでは、新聞の割り付けとして適切なものを選択することに課題。(本校57.9%、全国74.6%)

県

国語と理科の正答率は県平均を上回ったが、社会と数学は正答率が県平均を下回った。
 国語は、条件に合わせて自分の考えをまとめていくことに課題がある。
 社会は、活用力が付いているが、「我が国の国土」「我が国の歴史」の定着に課題がある。
 数学は、単位量当たりの大きさを比、反比例を図から読み取ることに課題がある。

【学習状況調査の結果】

「自分の考えや意見を発表することが得意」な児童の割合が県平均より高い。
 「あいさつ」「地域行事への参加」等については、肯定的な回答が高い。
 「一日1時間以上家庭学習をする」「自分で計画を立てて勉強をしている」児童の割合が高い。
 文章で解答する問題に対して無回答率が低く、算数の新しい問題への挑戦力も高い。
 「新聞やテレビのニュース」等への関心が低い。
 「読書は好き」と答えた児童の割合が低く、図書館の利用も少ない傾向がある。
 平日にゲームをしたり、テレビやビデオを見たりする児童の割合が高い。

成果と課題

落ち着いた学習環境づくり(学習規律)に力を入れ、話すことや聞くことの力が育ち、ねばり強く取り組む児童が増えている。
 毎月行っている児童アンケート「がんばっているよ」カードの振り返り活動で児童自身の自己成長感が高まった。
 補充学習の成果が現れ、国語・算数の基礎的基本的な問題の正答率は上がっている。
 問題をていねいに読み解く力や目的に応じた表現力に課題が見られる。
 各教科の4・5年生での既習内容の定着が課題である。
 新聞やニュース等社会への関心が低いので、知的環境を学校と家庭で高めていくことが課題である。
 読書をする児童としない児童の二極化がみられるので、さらに具体的な取組をしていく必要がある。

課題に対応した改善方法

改善につながった取組は継続する。・振り返り学習(どんでんチャレンジ等)・家庭学習・音読・視写・日記・単元別到達度テスト等
 各教科の学習の仕方を身につけさせ、自分で学習を進めることができるようにする。
 ・物語・説明文の授業で基本的な仕組を意識させた授業を行い、文章の要旨をとらえ読みとる手段を身につけさせる。
 ・自分の考えを説明したり、条件に合わせて書いたりする活動を多く取り入れる。(作文タイム)
 ・自学自習をすすめる。
 ・単元や授業の見直しをもたせる。(めあて、まとめ、振り返り)
 目的や意図に応じた話し合い、活動体験を学級活動・行事等にも積極的に取り入れる。
 補充学習を行い、個別指導に取り組む。(東書プリントの活用、放課後学習)
 知的な環境整備を行う。(地図、ことわざ、ニュース、詩、絵等)
 おすすり200冊や読書リレー、読書登山等に取り組む、読む本の幅を広げたり意欲を持たせたりする。

取組の検証方法及び検証時期

毎月の児童アンケートを継続して行い、学習や生活に対する意識付けを行うと共に自信がもてるようにする。...学期毎
 全学級、国語を中心に授業研究を行い、学習意欲とともに読解力や表現力を高める授業づくりを推進する。...2学期末まで
 授業評価シートの活用(職員月の月毎の視点を絞った指導の振り返りシート)で職員の意識の共有化...学期毎
 「えがおいっぱい高田っ子カード」の取り組み(家庭での過ごし方や家庭学習の時間、内容)...6月・10月
 小中連携の取り組みの継続(チャイム・そうじ・あいさつことばづくり・学習規律)...学期毎
 上記の結果を受けて、改善方法の見直しを図る。...12月

平成28年度津山市達成目標に対する具体的な目標(数値目標等)

各教科ともに、「好き」「よくわかる」と回答する児童の割合をあげる。(2学期末80%をめざす。)
 授業改善に向けて共通理解したことできている。①音読　めあて、まとめ、振り返り　子どもの発言をつなぐ(2学期末)
 家庭学習の全員提出をめざす。(2学期末100%をめざす。)
 読書登山の取り組みで、読書量や読書時間が1学期より20%増。
 高田っ子カード全員提出。家庭学習の時間・読書時間を1学期より10%増。
 どんでんチャレンジに取り組む。計算力・漢字力をあげる。たしかめテストで90点以上(1月末)　2・3月で定着
 算数で、該当学年の単元別到達度テストを全学年実施し基礎・活用の力をあげる。(2月末までに80%)